

馬頭星雲

TTC事務局OB 谷口 康一

オリオン座（写真1）は冬に見やすい星座の一つですが、そのオリオン座の中心部分に、2等星の星が3つ並んだ「三つ星」が見えます。この三つ星の一番左側の星（アルニタクという名称の青白い星）の周囲には比較的に明るいガス星雲が存在します。

写真2は、写真1の四角形で囲んだ部分を、星雲が発する主要な光の波長は通過させ、それ以外の光の波長は遮断するフィルターを使用して撮影したものです。近くの星の光からエネルギーを得て水素原子が発する赤色の光が、広範囲に見えています。写真2の上部に「燃える木（き）星雲（NGC2024）」と呼ばれるガス星雲（散光星雲）の赤色の光を、その前面にある濃いガスとダスト（塵）が遮っており、この黒く見える部分が木の幹や枝のようで、まるで木が燃えているかのように見えています。この黒い木に見える部分は「暗黒星雲」と呼ばれています。

写真2の中央部分にも赤色の光（IC434 という散光星雲）を背景に、黒い模様が見えています。この黒い模様が、馬の首のように見えることから「馬頭星雲（B33）」と呼ばれる暗黒星雲で、地球から約 1400 光年先にあります。写真2の中央部分を拡大撮影して、90度左回転させたのが写真3です。

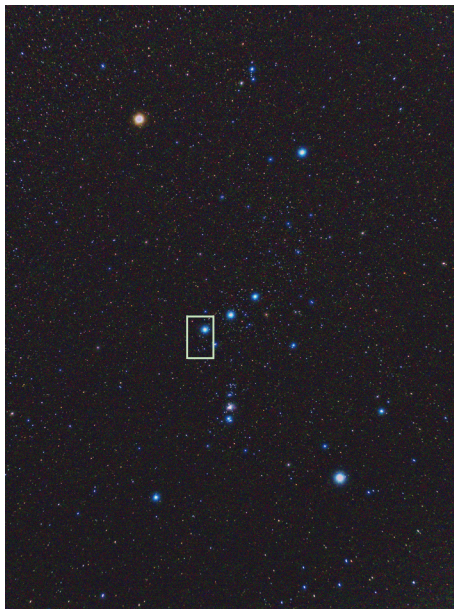


写真1. オリオン座



写真3. 馬頭星雲

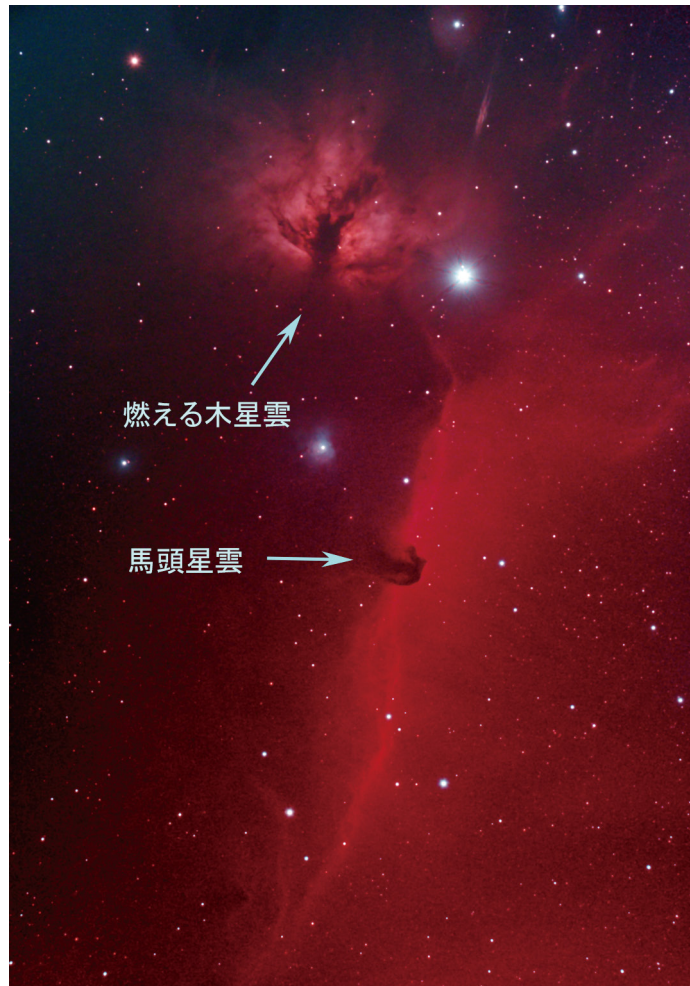


写真2. 「燃える木」星雲と馬頭星雲

各写真の横幅は、写真1：約 30 度、写真2：満月の約4倍、写真3：満月の約 0.8 倍